

再生プラスチック

資源として有効活用

日本では長年にわたり使用済みプラスチックをプラスチックに再生するリサイクル技術を確立し、普及してきた。しかしいまだに多くのプラスチックは再生されずに廃棄、焼却されている。最近では脱炭素化などの流れを受け、ようやく資源として循環利用しようという気運が高まってきた。

再生品、多彩な用途

プラスチック循環利用協会の調べによると、2022年は国内の廃プラスチック総排

し、粉碎、洗浄したものを溶融して粒状にしたもの（ペレット）を原料にして製品化する。このリサイクル方

法はマテリアルサイ

クルと呼ばれる。

出量が823万トあり、そのうち再生利用されたのは180万ト（22％）だった。再生利用向けの原料は産業系廃プラが多くを占める。

樹脂原料メーカーから排出される規格外品や樹脂加工業から出る端材などは、樹脂の種類がはっきりしていて品質が一定であり、排出量も安定しているの
で原料にしやすいためだ。そのほか物流に使用されるパレットや梱包用のフィルムなども再利用されている。

これまで廃プラを原料にした再生加工品は物性が低下する、品質が不安定であるなどの短所があったが、原料となる廃プラの品質管理、配合技術や加工技術の向上によりこれを克服し、現在では建設用資材から農林水産用資材、包装用資材、日用品までさまざまな用途に使われている。

廃プラの再生加工では、まず回収したプラスチックを選別する。その後不純物を除去

建材・包装用
日用品

P R

需要・供給で連携

国内の循環利用量を増やすには、再生プラの品質確保、安定供給、トレーサビリティ（履歴管理）の明確化など、需要側と供給側の連携が必要だ。

廃棄せ

今年7月に

廃棄せず—資源に再生

再生プラの利用拡大を　これまで工場や倉庫　プラを引き取っている　再生加工しやすいよ
目指す任意団体「サス　から排出、廃棄しているため、排出事業者側は　う、分別に協力したい。
テナブル・プラスチッ　たプラスチックは、適　処理費用を抑えられ　ストレッチフィルム
ク・イニシアチブ（サ　正に分別すれば資源に　る。プラはゴミではな　を製造する野添産業
スプラ）」が設立され　なる。リサイクル業者　く資源になりうるの　は、06年から本格的に
た。会員は現在110　は無償または有価で廃　で、リサイクル業者が　リサイクル事業を始め

る。東内氏は「今後は回収網を強化し、再生製品のラインアップの充実も図りたい」と意気込む。

パイロット認証を実施
しており、25年度から
本格的に運用を開始す
る見込み。

サスプラは再生プラ
の需要側と供給側が企
業規模を超えてフラッ
トな立場で連携し、品

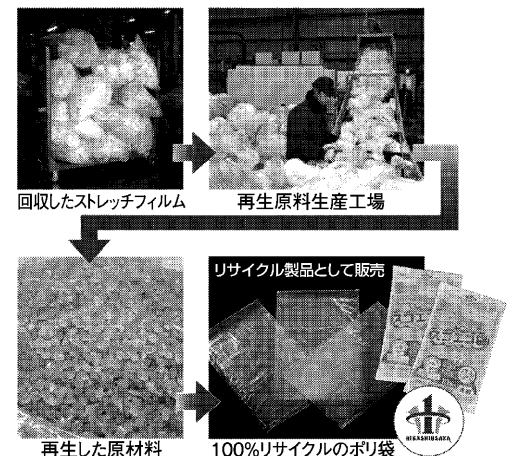
大、環境性能指標の策
定などにより、再生プ
ラ市場の健全な拡大を
目指す。こうした活動

により、生産から廃棄
までのライフサイクル
全体で捉えたプラスチック資源循環メカニズ

質確保や安定供給に
つむの構築が進むことが
なかるSPC認証の拡
期待される。

セロハンテープなどを取り除くなどの協力を得て、不純物の少ないフィルムを回収している。回収拠点は福岡、奈良、愛知、茨城、千葉、埼玉、神奈川にある。

リサイクル事業の流れ（野添産業）



た。同社は使用済みのストレッチフィルムを回収し、再びストレッチフィルムなどの製品に再生している。ストレッチフィルムは倉庫業での梱包、運送業での積み荷の固定などに使われる。

野添産業

野添産業は大阪府東大阪市に本社を構え、全国に営業・物流拠点を持つ梱包資材メーカー。荷物の梱包に用いるストレッチフィルムを主力製品に持つ。

使用済みのストレッチフィルムを自社で有価回収し、再生製品へとリサイクルする循環型ビジネスが特徴。中でも再生ストレッチフィルム「アースプロテクトエコ」は、再生原料を国内最高水準の50〜80%使用し、かつバージン製のものと同色ない耐久性・機能性を持つ。製造時のCO2排出量削減などに貢献する。

また再生原料の製造では水による洗浄工程を必要とせず、一切の汚染水を出さない「真に環境に優しい」リサイクル製品となっている。

リサイクルは野添産業にお任せ！

使用済みストレッチフィルムを有価で回収
再生ストレッチフィルムへリサイクルいたします！

エコマークアワード2023優秀賞受賞！
再生 アースプロテクトエコ
ストレッチフィルム

再生原料を50%～80%使用

バージン材よりも安価

エコマーク認定



ご使用済みストレッチフィルムを
全国各地へ回収に伺います！
お問い合わせ：06-6745-1566



野添産業株式会社

本社:〒577-0006
大阪府東大阪市楠根3丁目5番14号
<http://www.nozoe-industry.co.jp>

